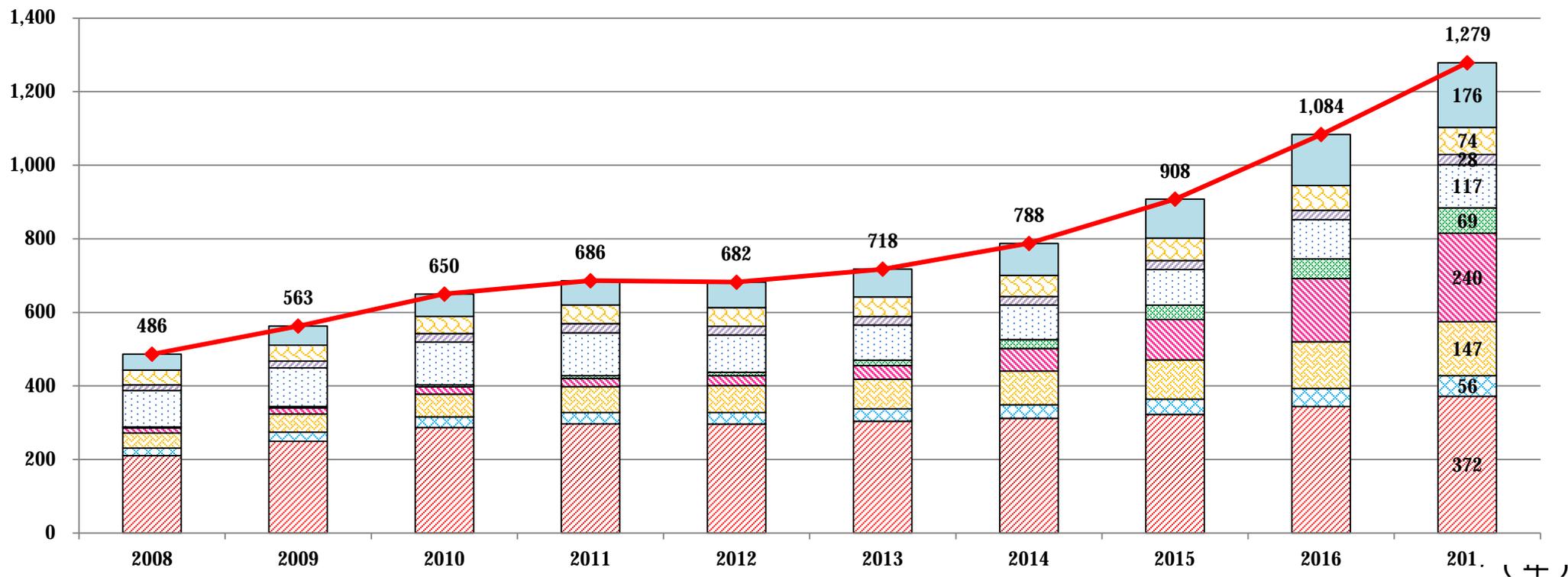


国籍別にみた外国人労働者数の推移

国籍別に直近の状況を見ると、中国が最も多く372,263人で、外国人労働者全体の29.1%を占めている。次いで、ベトナムが240,259人（同18.8%）、フィリピンが146,798人（同11.5%）、ブラジルが117,299人（同9.2%）の順となっている。

直近の推移を見ると、特にベトナムについては対前年同期比で68,241人（39.7%）と大幅に増加している。また、ネパールについても、同16,341人（31.0%）と大幅に増加している。

（単位：千人）



中国(香港等を含む)
 韓国
 フィリピン
 ベトナム
 ネパール
 ブラジル
 ペルー
 G7/8
 その他
 総数
 + オーストラリア + ニュージーランド